

＜ もくじ ＞	
1. 2025年度定時総会・創立25周年記念大会開催のお知らせ	1
2. 第9回研究会合同イベントの開催案内（再々掲）	1
3. 研究会からのお知らせ	2
4. 各研究会の概要報告	3
5. 「社会情報」研究会からの大切なお知らせ	4
6. 事務局からのお知らせとお願い	4

1. 2025年度定時総会・創立25周年記念大会開催のお知らせ

大会シンポジウムのテーマは、「いま、なぜシニアの社会参加なのか」です。シニア社会学会創設の狙いは、シニアが社会のお荷物になることなく、可能な限り社会の支え手として役割を果たすよう、社会に参加し参画することでした。シニアが社会参加することは個人の生きがいや健康維持につながるだけでなく、アクティブシニアが増えることで経済社会や地域を活性化させ、ひいては社会保障への支出を減らすことも可能でしょう。本大会が「シニアの社会参加の意義と意味」を考察する機会となることを願っております。シンポジウムと懇親交流会はどなたでも参加いただけます。

- 1) 開催日時：2025年6月7日（土）
- 2) 時間：総会11:00～12:00 大会13:00～16:40
- 3) 会場は、首都圏の予定です。次号でお知らせいたします。
 1. 基調講演：藤原佳典（東京都健康長寿医療センター研究所副所長）
 2. パネルディスカッション：司会：袖井孝子（当学会会長）

パネリスト：

 - ★ 池口武志（当会理事、一般社団法人定年後研究所所長）
 - ★ 野中孝泰（当会副会長、特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ会長）
 - ★ 清水肇子（公益財団法人さわやか福祉財団理事長）

コメンテーター：藤原佳典

※ お申し込み方法や参加費、懇親会費については、次号以降にお知らせします。

2. 第9回研究会合同イベント（シンポジウム形式）の開催案内（再々掲）

本年度の最後のイベントは例年3月に行われる研究会合同イベントです。今年は、社会保障研究会主催で「認知症ケア」の問題を扱います。認知症の原因はかならずしも一つではなく、その症状に陥る原因も機会もさまざまです。しかし現代社会では少子高齢化が進行し、老々介護が当たり前のようになりました。しかも多くの高齢者が社会とのつながりが希薄化し孤立化していくなかで、自らの社会の中での役割を見失いがちです。

その状況を背景に、認知症ケアにも現在の時代にあった手法が実践されつつあり、「ナラティブアプローチ」もその一つです。そこで今回は社会学およびジェロントロジーの研究者であり、本テーマに関する著書もある荒井浩道さんに基調講演をお願いし、具体的な実践者であるお二人の方にパネリストとしてお話をいただく予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

■ 開催日時：2025年3月22日（土） 14：00～16：00

■ 開催主体：社会保障研究会

■ 開催場所：ちよだプラットフォーム402会議室

■ プログラム

司会：袖井孝子（当学会会長）

1. 基調講演：「ものがたりとしての認知症ケア ～ナラティブ・アプローチ～」

講演者：荒井浩道（当学会理事、駒澤大学教授、曹洞宗泉龍寺住職）

2. パネルディスカッション

パネリスト：

① 下村達郎（香念寺住職）※寺院での介護者カフェ運営

テーマ：「寺院で開く語り合いの機会 ～介護者カフェ活動～」

② 上野美知子（Co もれび主宰）※ケアラー支援として都会で森林浴

テーマ：「森林浴を用いた介護者・認知症当事者への支援の可能性について」

コメンテーター：荒井浩道

※ お申し込みは、JAAS News 配信メールでご案内のチラシ（ダウンロードURL を記載しております）に掲載いたします。

3. 研究会からのお知らせ

(1) 第60回「ライフプロデュース」研究会開催のお知らせ

1) 日 時：2025年3月28日（金） 17：30～19：30 Zoom 開催

2) 報告者：松島悦子 当学会理事 研究会メンバー

3) テーマ：リスク認知と健康食品 ～機能性表示食品に注目して～

※ ご連絡ご質問は、中村昌子（nakamurayoshiko6@gmail.com）までお願いします。

(2) 第57回「社会情報」研究会開催のお知らせ

1) 日 時：2025年4月16日（水） 15：00～17：00

2) 場 所：ちよだプラットフォームスクウェア503会議室

3) 報告者：全員で検討

4) 概 要：「高齢者のデジタル・インクルージョン達成に向けた方策」を再度検討

※参加ご希望の場合は、前日までに森 moriyasu@ied.co.jp までご連絡ください。

(3) 第105回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ

1) 日 時：2025年4月21日（月） 15：00～18：00

2) 場 所：早稲田大学・国際会議場4階第7共同研究室

3) テーマ：シニア社会のあり方を、公と私・中間層問題などの新しい視点から考察する（仮）

発表者：佐藤 敬

4) 参加費：300円

※ お問い合わせは、島村（ken-sima1941@jcom.home.ne.jp）までお願い致します。

(4) 第169回「社会保障」研究会開催のお知らせ

1) 日 時：2025年4月23日（水） 18：00～20：00

2) 報告者：魚住明代（城西国際大学教授）

3) テーマ：「地域における居場所づくりドイツ連邦プログラムの取り組み」

4) オンラインで開催いたします。

※ 参加を希望される方は、阿部（fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp）にご連絡ください。

資料をお送りいたします。

※ ご質問がありましたら、阿部(旧姓佐藤)まで 090-4436-6853

4. 各研究会の概要報告

(1) 第168回「社会保障」研究会報告要旨

- 1) 日 時：2025年2月19（水） 18：00～20：00
- 2) 報告者：大竹雄二（厚生労働省老健局介護保険計画課長）
- 3) テーマ：「介護保険の現状と見直しに向けた検討状況について」
- 4) 参加人数：18名

要介護高齢者の増加や家族の変化に従来の老人福祉・老人医療では対処できなくなったため、自立支援・利用者本位・社会保険方式による介護保険制度が創設された。しかし当初の理念は実現されず、医療・介護・予防・住まいなどを一体的に供給する地域包括ケア・システムの導入が図られている。

生産年齢人口の減少や単身世帯の増加が予想される2040年に向けて、全世代型社会保障、働き方の効率化、健康寿命の延伸などを実現するために検討会が発足。介護保険については、2027年度改訂に向けて、議論が進んでいる。介護保険については、①介護人材の確保（賃金アップ、デジタル化による生産性向上、経営の効率化）、②介護予防・健康づくり、③介護保険制度の持続可能性（負担と給付の見直し）が課題である。若者世代が減少すること、介護保険だけで生活を支えることはできない、財政や地域資源には様々な制約があることを理解する必要がある。

参加者からは、在宅ヘルパーの不足、施設におけるレクリエーション活動の停滞、看取りへの配慮不足、地域支援事業の不振、有料老人ホームへの多額の紹介料などの問題が指摘された。高騰する介護人材斡旋料についてはハローワーク経由を優先させたいが、今後の課題である。基本報酬を下げた加算を増やすことが小規模事業所の倒産につながることにについては、小規模事業所どうしの連携による効率化が勧められる。高齢者にとって就労は非常に大切であり、自治体が中心になって進めるよう、27年度改訂には間に合わせたい。参加者には介護中の人や介護にかかわる仕事をしている人もいて、活発な議論が展開された。（袖井孝子 記）

(2) 第59回「ライフプロデュース」研究会の報告

- 1) 日 時：2025年2月21日（金） 17：30～19：30 Zoom開催
- 2) 報告者：鈴木さや 沖縄県南城市在住 パーソナルトレーナー 研究会メンバー
- 3) タイトル：60代後半で東京から沖縄に移住、不安の乗り越え方とデジタル活用法

私自身2023年7月28日に68歳で単身沖縄に移住しました。移住の動機は、同居していた息子が独立し、独居となったことがきっかけです。移住における不安は大きく分けて、仕事・家族・友人・環境自然・地域との関わり方になりますが、私の場合仕事はインターネットを使っただけのコンサルや講座なのでパソコンとWiFiがあればどこでも仕事ができる。などをお伝えしている中で、ご参加の方々から、転勤での生活の変化や、地方での生活での不便や反対に楽しみ、行動力に刺激を受けた、高齢の犬と一緒に移住がスゴイなどのご意見をいただきました。移住という人生最大の環境の変化を楽しむには「その地でのその暮らしを楽しむ」という気持ちがあればどうとでもなるのではないかと思います。とりわけ家族と友人に関しては思い切りと覚悟が必要です。新しい環境に飛び込む覚悟です。それこそが **Innovation for Your Life!** たった一度の人生だから、好きなところで好きに生きる！それは健康なうちにできることですので、健康に留意して大いに変化を楽しみたいものです。（鈴木さや 記）

ソウルメイトのさやさんから、沖縄移住の決意を聞いたときには、本音を言うと、実は少し呆れた。が、人間至る所青山あり（故郷を出て広い世界で活動するべきである）と **No Rain No Rainbow**（苦は楽の種）が座右の銘である彼女は、短期間で、うちなーんちゅ（沖縄の人々）のコミュニティにすっかり溶け込み、「おきなわマラソン」フルレースに挑み、移住仲間と共に畑を耕し、WiFiを駆使して複数の仕事を巧みにこなし、1回/月は上京し、首都圏の匂も逃さずキャッチしている。祖父母、両親、元夫を介護し看取り、潔くサッサ！と墓じまいし、そして沖縄へ移住一。波乱万丈で破天荒な彼女の70代は、今夏に幕を開ける。そして彼女の人生はしなやかに続い

5. 「社会情報」研究会からの大切なお知らせ

■「シニアのスマートフォン利用のセキュリティ対策」どうしていますか？

スマートフォンの利用が増えると、ネット詐欺被害にあうなどの危険も増えてきます。その対策はどうしていますか？

『セキュリティ対策のポイント』

- ・パスワードを使い回さないようにする
- ・提供元不明のアプリをダウンロードしない
- ・怪しいメッセージやリンクを開かない
- ・非通知や知らない電話番号には出ない
- ・詐欺電話や不正請求に注意する

でも、わからない時には周りの人やスマホショップに相談しましょう。

社会情報研究会の調査研究でも、スマートフォンを利用して困った際、相談する相手がいるかどうか、利用の適応性を分ける要因となっています。

※ 社会情報研究会の調査研究は、ホームページにリンク先を紹介しています。

6. 事務局からのお知らせとお願い

<会員情報変更時のご連絡のお願い>

事務所移転後は、各種ご連絡をeメールや郵送で行うことが多くなっております。会員情報（氏名・住所・メールアドレス等）に変更が生じた場合は、速やかにご連絡くださいますようお願いいたします。なお、電話による連絡はご遠慮いただいております。シニア社会学会事務局あて連絡は、eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp 又は郵送いずれかの方法にてお知らせください。

<2025年4月 JAAS News の発行日>

次回 JAAS News 第308号の発行日は、2025年4月16日（水）です。原稿をお寄せ下さる方は、4月11日（金）までに、学会宛のeメール添付にてお願いいたします。

シニア社会学会 事務局一同

一般社団法人 シニア社会学会・事務局
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア1037
eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：<http://www.jaas.jp/>